



どんどん便利に!

進化する とちぎの公共交通

鉄道や路線バス、タクシー、デマンド交通によって支えられている本県の公共交通。近年、運転免許証を自主返納する高齢者や本県を訪れる観光客の増加等により、日常生活や観光における移動手段の確保・充実が求められ、その重要性が高まっています。今回は、地域の需要に応じて進化する県内の公共交通の取組をご紹介します。



取組1 自動運転バス本格運行を目指し、実証実験中!

県では、「栃木県ABCプロジェクト」と称して、令和7年度からの自動運転システム(Autonomous)を導入した路線バス(Bus)の本格運行を目指した挑戦(Challenge)を進めており、県内各地で実証実験を行っています。

自動運転バスの導入は、運転手の高齢化や人材不足などの課題解決、さらには地域の活性化など、公共交通の新たな可能性を探る取組として期待が高まっています。

自動運転バス 仕組みは?

車両の位置を特定する技術や障害物を検知する技術等を組み合わせることで、安全で快適な運行を実現します。



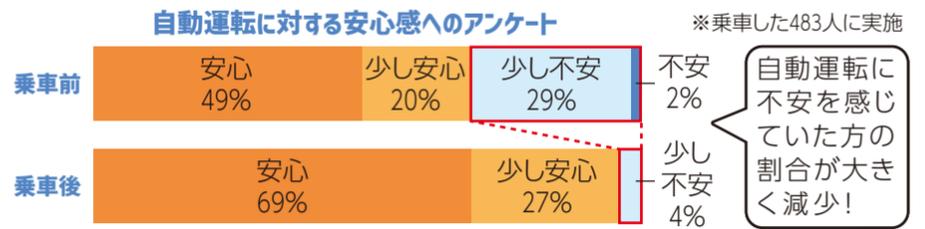
※茂木町での実証実験で使用した技術

車両の位置や障害物等を検知するセンサー

システムに搭載した高精度なデジタル地図に基づき走行

茂木町で自動運転バス実証実験を実施!

6/6~20、「道の駅もてぎ」~「茂木駅」~「ふみの森もてぎ」の区間で自動運転バスの実証実験を行いました。期間中、多くの方が乗車し、自動運転バスを体験しました。



実験の動画など 詳細はこちら

Topic 那須塩原市(塩原温泉郷)で実証実験を実施します!

●実施期間や乗車方法など、詳細は決まり次第、公式ホームページ等でお知らせします



公式ホームページ



取組2 地域共助型生活交通の導入

地域共助型生活交通とは、地域住民が主体となり、自家用車等を使用して住民を運送するサービスのこと。これまで主に交通事業者や行政が担ってきた公共交通の運行を地域住民主体で行う新しい形の公共交通で、住民ニーズに応じて、よりきめ細やかな運行ができると期待されています。県では、このガイドラインを整備し、導入支援を行っています。

矢板市で県内初導入!



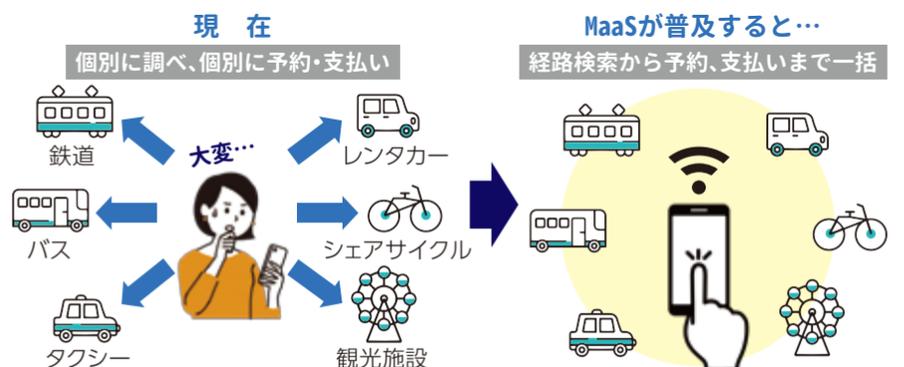
地元住民による運営組織が主体となり、「コリタ号」の運行が開始されました。



取組3 移動から観光まで! MaaS

MaaSとは、「Mobility as a Service」の略称で、鉄道やバスなど複数の公共交通やそれ以外のサービスを組み合わせ、経路検索・予約・支払いを一括で行えるサービスのこと。

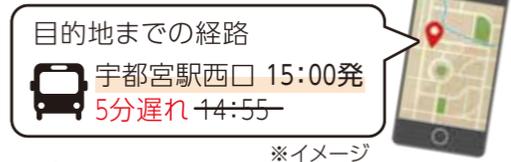
これまで、個別に調べ、手配していた目的地までの交通手段や観光施設のチケット等が、MaaSの普及により、ワンストップで楽に行うことができます。県では、この普及に向けた取組を推進しています。



MaaS普及に向けた取組が続々!

バス運行情報の見える化

経路検索サービスで、路線バスの時刻表・ルート・運賃・リアルタイムの運行情報などを調べることが可能に



地域ICカード「totora」

小銭を気にせず、このカードでバス等の利用が可能に(Suicaを使えるお店で買い物も!)



Topic 環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」サービス開始!

10/28より、日光地域において環境にも配慮した全国初のサービスを順次開始します。

鉄道・バス(日光地域) デジタル限定フリーパス + 環境に優しい移動手段 EV・PHVカーシェアリング + 歴史・文化施設等 拝観・入場チケット*

※NIKKO MaaSウェブサイト経由での購入。今後サービスを連携する予定です

これって? 芳賀・宇都宮 LRT情報

R5年3月の開業を目指し、宇都宮駅東口から芳賀、高根沢工業団地の間で整備が進められている「芳賀・宇都宮LRT」についてご紹介します。



車両の愛称「ライトライン」、各停留場の名称が決定!

ライトには、光などの意味とともに、宇都宮市の別名「雷都」が含まれています。また、道筋などを意味する「ライン」と組み合わせ、「(未来への)光の道筋」といったメッセージも込められています。

このほか、詳しくは公式ホームページでご確認ください

鉄道 バス タクシー コロナ対策を徹底しています 安心してご乗車ください

換気 鉄道やバスは換気性能が優れており、車内の空気を約5分で入れ替わります。タクシーは約1.5分で入れ替わります

消毒 手すり等を中心に消毒を徹底しています

